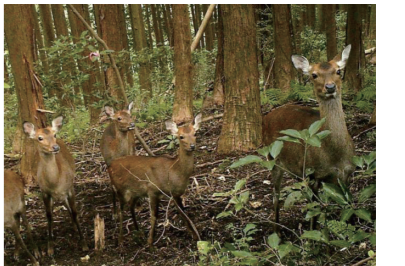




佐々木 敦緒 議員

一問一答方式



ニホンジカの群れ

野生鳥獣「ニホンジカ」 捕獲の促進を

問……………

夜間銃猟の導入や公共牧場、民有草地等へ囲み罠を設置等してニホンジカの捕獲強化を図ることが必要では。

答(市長)……………

今年度、新たに岩手南部森林管理署遠野支署、遠野猟友会、遠野市の3者で「ニホンジカ等被害対策協定」を締結し捕獲を強化して

いる。大型囲み罠については、以前設置して捕獲に努めたが思ったほどの成果が得られなかった。いずれ、様々な手段、方法等をもってニホンジカの捕獲圧力を強め、個体数の減少に努める。

問……………

捕獲後の個体処理については、課題を踏まえ北海道等に視察研修を行い、焼却、ジビエ振興を兼ねた食肉加工施設の誘致を計画して、関係市町村とも協議を重ねてきたが合意に至らなかった。遠野市独自の対策は急いで検討を進める。

答(市長)……………

捕獲後の個体処理については、課題を踏まえ北海道等に視察研修を行い、焼却、ジビエ振興を兼ねた食肉加工施設の誘致を計画して、関係市町村とも協議を重ねてきたが合意に至らなかった。遠野市独自の対策は急いで検討を進める。

会へ貸し出しすることが必要では。

問……………

ある山間集落の高齢のご婦人から、除雪が遅いという話を聞いた。地域によっては降雪量が違う。町単位等に降雪量等連絡員体制を整備し市民に優しい除雪体制が必要では。

答(市長)……………

連絡員の配置か、地区センターの機能強化かは今後の課題である。きめ細かい除排雪をしなければならぬので、担当課に指示している。

市民に安心・安全の 除雪体制は

問……………

お宅及び市営住宅の庭と道路が接する雪の盛り上がりや、庭の雪かきなどの応援隊が必要ではないか。

答(市長)……………

高齢者等の除雪支援

については苦情や要望が毎年ある。住民アンケート等を実施し取り組みを検討している地区もあると聞く。しっかりと検討していきたい。

問……………

独居高齢者、身体などに障害を抱える方



高齢者宅の除雪応援

答(市長)……………

一定の規制は、影響を最小限に抑え、本市が守り育ててきた景観を後世に引き継ぐ有効な手段である。一方、市民の土地利用の制限にもつながることから、財産権とのバランスを考慮にいたした検討が必要である。

問……………

遠野市民が森を守るひとつの力にならなければならぬ。森林環境教育を社会教育として推進する考えは。

答(教育長)……………

子どもから大人まで、森林の保護や適切な森林資源活用の意識を高めていく必要がある。地域の林業と日常生活や環境との関係性についての理解・関心を深めることが大切であると考える。森林環境教育の機会を広く提供していきたい。

遠野にメガソーラー発電は 必要だろうか

問……………

47・5鈴にもおよぶ大規模太陽光発電所建設計画が、高清水の麓に持ち上がっている。市の対応を伺う。

答(市長)……………

※条例に基づいて、事前協議の届出が、計画事業者側からあり、審議会に諮問した。審議会の答申に従い、景

問……………

メガソーラー建設に係る影響をどのように分析しているか。

答(市長)……………

景観資源の損失や土砂崩れ等の災害発生、

問……………

地域経済へのプラス効果はあるか。

答(市長)……………

外資系企業による広大な計画である。設備の大部分を占める躯体やパネル等については、市外事業者への発



菊池 美也 議員

一問一答方式



高清水展望台からの美しい眺め。

景観の公共性

※条例 「遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例」平成27年4月1日施行 再生可能エネルギーに関する事業を推進しつつ、永遠の日本のふるさと遠野として守り続けてきた景観資源を保全し、将来の世代に継承することを目的とする。